キラリ★農業系高校
北海道旭川農業高等学校

多彩な農のプロジェクトが、生徒たちの夢を後押し!

農家の後継者は、すでに経営者目線!?

旭川農業高校は、建学100年近くの歴史を積み重ねる伝統校。農業科学科、食品科学科、森林科学科、生活科学科に分かれ、普通教科と「農」にまつわる専門学科の学びを両立している。

中でも特徴的なのは「プロジェクト学習」。各学科の生徒が専攻班に分かれ、自ら定めたテーマや課題に対して調査・研究に乗り出しており、「水稲班」「畑作機械班」「園芸班」「畜産班」「生物技術活用班」などのプロジェクトがある。

水稲班は密苗(みつなえ)という稲の栽培の省力化・低コスト化技術を研究中。インタビューに答えてくれた吉川さんは「祖父が水稲農家です。将来は私が継ごうと思っているので、もっとラクな農業を実践するためにも密苗は勉強になっています」と笑顔を見せる。

このように同校の生徒には近隣農家の後継者も少なくない。園芸班の林君は「親はトマト農家なんですが、自分が継ぐ時には栽培する作物の種類を増やして、リスクを減らしたいです。プロジェクト学習は自分が作りたいものにトライできるので、将来に向けてメロンやスイカの栽培を学んでいます」と、すでに農業経営者顔負けの視点で語ってくれた。

地域の農家に役立つプロジェクトも

同校は地域との連携も活発だ。子どもたちへの木育や地場企業との商品開発などもプロジェクト学習から生まれている。

例えば、生徒が育てた米を使い、地元のスーパーとおにぎりを共同開発。自分たちで店頭販売も行ったところ、地域の方に大人気を博した。

また、近隣農家に役立つ研究も。畑作機械班では、先輩が荷運びのための農業用アシストカートを電動化させた。「軽量化やハンドリングの向上によって、農家の負担をもっと軽くしたい」と朝倉君は改良に奮闘中だ。

中にはここで新しい夢を見つけた生徒も。生物技術活用班の小林さんは非農家出身の先生が生徒と懸命に向き合う姿を見て、「私も同じように農業高校の先生になりたいと思いました」と満面の笑み。生徒たちの輝く瞳は、一人ひとりの夢が実る未来を映し出しているようだった。

北海道旭川農業高等学校

住所 旭川市永山町14丁目153番地
TEL 0166-48-2887
URL http://www.kyokuno.hokkaido-c.ed.jp

Agricultural School Life

笑顔も満点!「きょくのう」スクールライフ

ホルスタインの品評会で全国大会に進みたい!

父の後を継ぐため水稲栽培を勉強中!

どんな道に進んでも、「農」に寄り添ってほしい!

アシストカートの改良に奮闘中!

動物園の飼育員を目指しています!

〈読者のお便り〉 帯広市 20代

将来、「十勝のために」、「人のために」尽くすことのできる人材として活躍して欲しいという思いで日々生徒と接しております。そのためにも地元十勝の農業に興味のある生徒に様々な機会を与える方法として参考にさせていただいております。

編集者より confa mail 読者より

農業は北海道の基幹産業ですので、学生・生徒の皆さんにもっと農業を身近に感じてもらい、興味を持ってもらいたいと考えています。今後とも本誌をぜひご活用ください。